

様式 - 1

補償調査委託業務成績評定表

機関名：

委託番号		請負者		着工日	年 月 日								
委託名				完成日	年 月 日								
請負額		業務内容		検査日	年 月 日								
考 査 項 目	監 督 員				主 任 監 督 員				検 査 職 員				
	氏 名		印		氏 名		印		氏 名		印		
項 目	細 別	a	b	c	d	a	b	c	d	a	b	c	d
専門技術力	現地状況の把握	+1.5	0	-2	-5	+3	0	-5	-10				
	提案力	+1.5	0	-2	-5					+8	0	-10	-20
	説明力	+5	0	-3	-10	+7	0	-5	-20				
	補償基準に精通	+2	0	-2	-5	-	-	-	-	+5	0	-5	-15
管理技術力	権利者対応	+2	0	-2	-10					+5	0	-5	-15
取組姿勢	発注者との連絡等	+1.5	0	-2	-10	+5	0	-5	-15				
成果品	必要資料の収集	+1.5	0	-2	-10	+5	0	-5	-15				
	単純ミスの有無	+5	0	-5	-10	+5	0	-5	-15				
	成果品の整理	+5	0	-5	-10					+7	0	-5	-10
工程管理力	工期の遵守									-	0	-	-15
加減点合計		点				点				点			
評 定 点 (注1)		点				点				点			
評定点合計 (注2)		点											
特 記 事 項		(監 督 員)				(主 任 監 督 員)				(検 査 職 員)			

(注1) 評定点 = 7.5点 ± 加減点合計

(注2) 評定点合計 = $\times 0.2 + \times 0.3 + \times 0.5$

評定点合計は、四捨五入により整数とする。

補償調査委託業務成績評定指針

項目	細別	a	b(普通)	c	d
専門技術力	現地状況の把握	地域の実情を十分把握したうえで、発注業務を全て調査積算していた。	発注業務全てを調査積算していた。	発注業務に一部調査もれがあった。	発注業務の調査が不十分であった。
	提案力	補償額積算に有益な調査の追加や、考え方の提案や事例の紹介等がなされた。	検討された提案内容が良かった。	提案内容が単純なものであった。	提案内容が全体的を射ていなかった。
	説明力	納品にあたり、資料や解説等をまとめた自社独自の説明資料等が作成され、わかりやすい説明がなされた。	納品にあたり、十分な説明がなされた。	納品時の説明が不十分のため、質問をすることが多かった。	納品時の説明が不十分であり、また質問にも回答することができなかった。
	補償基準に精通	補償基準に十分精通しており、重要な点については解説等が添付されていた。	補償基準に精通していた。	補償基準に精通していない部分が見られ、指示する点が多かった。	補償基準に精通しておらず、指示する点が非常に多かった。
管理技術力	権利者対応	権利者に対する対応がよかった。	権利者からの苦情がなかった。	権利者からの苦情があり、一部発注者対応を余儀なくされた。	権利者から苦情があり、発注者の対応を余儀なくされた。
取組姿勢	発注者との連絡等	発注者へ必要な連絡を行うとともに、指示事項にも迅速に対応し、委託打合せ簿も速やかに提出された。	発注者へ必要な連絡を行い、指示事項に迅速に対応していた。	発注者への連絡が少なく、指示事項についても迅速な対応ではなかった。	発注者への連絡が少なく、指示事項について努力が見られなかった。
成果品	必要資料の収集	最新の事例や工法等を含め、必要な資料が簡潔に整理されていた。	算出根拠等に関する資料が完備されていた。	算出根拠等に関する資料が指示により概ね完備された。	算出根拠等に関する資料が指示しても完備されなかった。
	単純ミスの有無	担当者以外によるチェック表の添付等、自主的な取組みがなされ単純ミスがなかった。	計算違い、図面の書き誤り等の単純ミスがほとんどなかった。	計算違い、図面の書き誤り等の単純ミスがあった。	計算違い、図面の書き誤り等の単純ミスが非常に多かった。
	成果品の整理	文章の修正や資料の差し替え等もなく、成果品の整理が非常によかった。	整理された見やすい成果品であった。	一部整理ができていなかった。	整理が不十分で、見づらい成果品であった。
工程管理能力	工期の遵守		成果品が工期内に納品された。		成果品が、工期内に納品されなかった。

(注) 評定の根拠については、整理しておくこと。